

館名	廿日市市佐方市民センター	
事業名	キキカン（聞き官）	
趣旨	危機管理のスペシャリストたちが働く場において、「見て」「聞いて」「感じて」のキーワードをもとに体験や説明を受けることにより、大規模災害発生時にはこれらのスペシャリストが実際にどのように動くのかを知り、誰でもすぐに助けることが難しい事を学ぶ。そして、自分たちが何を考えて何をしなければならないか、そして今出来ることが何かを考えて行動できるようになる。	
特徴	○子供から大人まで広く参加を呼び掛け、地域全体で危機管理について考える機会としている。 ○警察や消防など多様な主体と連携し、危機管理についての多面的な見方や考え方に「現場」で触れることができる。 ○最終回でスペシャリスト座談会を実施し、これまでの学びを振り返り、自助と共助の重要性について共有する場を設定している。	
事業の様子		
	【警察編】 警察が所有する水害時に活躍した水陸両用車の試乗体験や工作車の見学	【消防署編】 消防の救助隊と参加者が一緒になって、要救助者の救出訓練を体験
		
	【自衛隊編】 海田市駐屯地を訪問し、さまざまな装備体験や災害時に役立つ実技訓練を実施	【スペシャリスト座談会】 RCC アナウンサー田村さんが進行して、廿日市市で実際に活躍する機関の方達それぞれの役割について会場と共有

活動実績	<p>1. 実施体制          危機管理のスペシャリスト…警察・消防・自衛隊・市役所危機管理課・市議会それぞれの立場から危機管理についての役割を聴いた。実際の災害支援を行った方から、その働く職場で話を伺うことにより、働く場で学ぶ意義も考えた。</p> <p>2. 事業内容</p> <p>(1) 警察…危機管理監などから災害時の話を伺い、県警本部の動きと地元警察の動きについて聞かせて頂いた。その他日常の治安維持活動についての話を伺った。</p> <p>(2) 消防…隊員から災害時の話を伺い、市消防の動きを聞かせて頂いた。救助訓練を合同で実施して緊急時の対応を学び、その他日々の訓練活動についての話も伺った。</p> <p>(3) 自衛隊…それぞれの隊員がもっている役割に基づき最前線で行う災害支援の話を伺った。また、災害時に使えるロープワークや担架の作り方などを学んだ。</p> <p>(4) 市役所危機管理課…市の危機管理の中核としてどのように機能しているのかを知り、我々の暮らしが無意識のうちにもどのように守られているのか聞かせて頂いた。</p> <p>(5) 市議会…実際の議会見学は出来なかったため、こども議会の傍聴を行い、議場の見学だけでなく議会の仕組みを学んだ。</p> <p>(6) 最終回のスペシャリスト座談会において、今まで参加出来なかった方にも参加してもらい、各機関の役割を改めて伝えてもらい共有した。それを踏まえて各機関の特徴的な動きについても共有し、さらに各機関の現場で働く者が抱える苦しみについても理解してもらい、自助と共助の重要性について共有した。</p>
成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模災害発生時に各機関がどのような役割を担うのか、改めて学ぶことが出来ていた。</li> <li>・今まで、さまざまな機関が救助活動をしていることは知っていても、具体的にどのような活動をしているのか、それぞれの特徴を学んでもらう事が出来た。</li> <li>・自助と共助の重要性を考えることが出来て、今後来る大規模災害に備える一助となった。</li> <li>・児童に付き添って参加した保護者が予想以上に興味を持ち、児童と同じぐらい積極的に参加していた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・探求学習に関連した学習になると思い各校を訪問して広報したが、中高生の反応が芳しくなかった。今後は、中高生の参加が増えるような広報の仕方を工夫する。</li> </ul>
連絡先	<p>佐方市民センター          〒738-0001 廿日市市佐方 1-4-28          電話: 0829-32-5049          E-mail: hatsukaichi.city.sagatacc@fch.ne.jp</p>